

てん菜協会 だより

2015.10.15

第 121 号



発行／一般社団法人 北海道てん菜協会／〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目 ☎011-221-2542 FAX011-221-1815
URL <http://www.h-tensai.sakura.ne.jp>



15農業・農村フェスタ in 赤れんが

てんさい

退職後に家庭園芸を楽しもうと思いい、三年前に夜間の園芸教室に一年間通った。そこで知り合った同好の士と園芸ボランティアを始めて二年になる。単純作業ではあるが園芸は奥が深く、求められる知識も広範囲である。北海道は気候がヨーロッパに似ており、あちらの園芸書も違和感なく読め、また参考になる部分が多い。

カレル・チャペック氏の園芸エッセイにてん菜の記述があることに目がとまった。氏によればチェコの秋の美しさはてん菜であると賛美しているのだ。それは耕作者の収穫作業によりてん菜根がうずたかく積み上げられ、幾何学的なピラミッドとなっていく描写であり、彼の賛美している美しさは人間が自然に働きかけ作り上げた大地の記念碑なのである。更に、ほかの農産物はすぐに市場・消費者に向かって運ばれるのに対し、てん菜は逆方向の耕地の中にある工場へ向かって大量の輸送を行っている」と述べている。

園芸エッセイという軽い読み物でしかも百年あまり前の古い本であるが、現代にも通じる、てん菜の作物と製糖工場の特徴を的確に描いていると感心した次第である。

さて、私には、氏のような園芸に対する深い理解や審美眼は持ち合わせていないが、園芸の楽しみは感じることが出来る。また園芸ボランティアに参加で退職後も多少は社会に貢献できるのではないかと。

四季を通して植物の生長する様を観察し、自然災害や病虫害発生に対して適切な管理を行う。これらの園芸作業は、てん菜生産におけるものと相似である。今年の我が家の巨峰は例年になく大粒で甘い。その葡萄を食べながら「今年のでん菜は高収量で高糖分」を確信した。

園芸を楽しむことで、てん菜を思い、関係者の皆様への感謝の念が芽生えるのです。

(F・S)

第5回 高品質てん菜生産出荷共励会の開催について

北海道農政部生産振興局農産振興課

はじめに

一般社団法人北海道てん菜協会と北海道では、高い生産技術により高品質てん菜を生産出荷している生産者を表彰し、その優れた取組を他の生産者や関係者に広く周知することによって、輪作体系の維持・確立はもとより、作付面積が減少しているてん菜の生産振興とてん菜生産者の作付意欲の向上を図ることを目的に、関係者の協力の下、平成23年度より「高品質てん菜生産出荷共励会」を開催しています。

1. 対象者

(1) 対象者は、てん菜生産者（個人、法人）とする。

(2) 栽培方法により次の2部に分け、

さらに第1部は3地域別とする。

第1部 移植栽培（十勝地域・オホーツク地域・その他地域）

※（移植+直播）生産者も含むものとする。

第2部 直播栽培（全道地域）

※直播栽培のみの生産者とする。

(3) 共励会対象者の最低作付面積

第1部 移植栽培

十勝地域、オホーツク地域

その他地域

第2部 直播栽培

全道地域

2. 共励項目

・ 生産実績

・ 安定生産・安定供給への取組

・ 高品質てん菜生産のための努力

3. 審査・表彰基準

(1) 生産実績

10 a 当たり糖量について評価する。

(2) 安定生産・安定供給への取組

作付面積の維持・拡大状況及び過去の10 a 当たり糖量実績について評価する。

(3) 高品質てん菜生産のための努力

土づくり、施肥、栽培管理、省力化等の取組について評価する。

4. スケジュール

(1) 平成28年1月上旬

対象者の選定（各工場糖量等上位者）

(2) 平成28年1月中旬

技術調書作成のための聞き取り調査実施

(3) 平成28年2月上旬

共励会審査委員会の開催

(4) 平成28年2月中旬

共励会表彰式の開催

協会の普及啓発活動

「15農業・農村フェスタ in 赤れんが」で、

てん菜・てん菜糖をPR

農村は、お米や農畜産物を生産するだけではなく、美しい景観や雨水を蓄え防災の役割など大切な働きがたくさんあり、その素晴らしさを消費者に知ってもらおうと10月3日（土）、道庁赤れんが庁舎前で「農業・農村フェスタ in 赤れんが2015」が開催され、当協会も農畜産業振興機構札幌事務所と協賛参加し、てん菜やてん菜糖の理解を深めてもらうPR活動を行いました。当日は、親子づれをはじめ観光客等約1万人の入場者があり、大変な賑わいでした。

PRコーナーでは、てん菜の実物を展示するとともに、千切りにして味見していただきました。また、おしるこの試食、砂糖に包まれたドーナツや金平糖の提供、「てん菜は日本では北海道だけで生産されている」ことや「砂糖は、体・脳・心に大切



'15農業・農村フェスタ in 赤れんが

「な食品である」ことを説明したパンフレット、スティックシュガーを配布し、てん菜・てん菜糖についてのPRを行いました。

特設ステージでは、てん菜やてん菜糖に関するクイズを行い、正解者には糖業者から提供された砂糖製品の詰め合わせを贈呈し大変喜んでいただきました。

てん菜は、北海道畑作農業にとって欠くことの出来ない重要な作物ですが、てん菜そのものを知らない消費者の方が多くいらっしゃいました。今後いろいろな場面でPR活動を

展開して理解の促進を図っていきたいと思います。



'15農業・農村フェスタ in 赤れんが

「土別ビートまつり」で てん菜・てん菜糖をPR

てん菜や製糖工場について、地域の方々に理解を深めていただくことを目的に「第3回土別ビートまつり」が6月28日(日)、土別市など関係機関・団体が構成する実行委員会が主催して、日甜土別製糖所の敷地内で



土別ビートまつり

盛大に開催されました。

当協会も、協賛団体として参画し、電光パネルによる砂糖が出来るまでの解説やドン菓子提供、PR資料を配付するなど、来場者にてん菜やてん菜糖のPRを行いました。

当日は好天に恵まれ、市内外から親子づれなど3千人ほどが訪れ、各種イベントを楽しんでいました。

このようなイベントは、てん菜とこれに関する地域産業の重要性を再認識していただく上で有意義な取組であり、他の地域でも展開されることを期待しております。

予告

「北海道のうまいもの見つけた！」
アリオ札幌店で

平成27年10月28日から11月1日までの5日間、北海道の食をPRする「北海道のうまいもの見つけた！」がアリオ札幌店で開催され、道産農産物などの販売の他、パネル展示等が行われます。

当協会は10月31日と11月1日の2日間、てん菜・てん菜糖の普及啓発として北海道農政庁・独立行政法人農畜産業振興機構と共同でPRコーナーを設置し、スティックシュガー等の配布を行いますので是非ご来場をお待ちしております。



てん菜生育状況等現地圃場調査

てん菜協会会員並びに農畜産業振興機構の在札関係者による現地圃場調査を、十勝及びオホーツク管内を対象に本年は6月と9月の2回開催しました。

このうち6月16、17日の調査では、面積の確保状況、定植、直播播種などの作業進捗状況、初期生育状況、病害虫防除に対する取組状況を現地圃場で確認しました。

本年は定植、播種作業が極めて順調に進捗し、活着や発芽も総じて良好で、初期生育は良好でありました。霜害や風害被害もなく廃耕、他作物転換なども僅少で、各所とも前年と比較べ作付面積は増加する見込みであることの報告がありました。

昨年発生した拡大した西部萎黄病については、各所とも冬期間に地域ぐるみで、アブラムシの越冬場所除去のためハウスクリーニングを徹底したことの説明がありました。定植直前の薬剤苗床灌注についても実施が徹底されていました。

2回目の調査は9月1、2日に行いました。6月の調査と同一の行程

で、病害虫発生状況や生育状況を調査確認しました。

病害虫については各所とも関係機関による発生予察とそれに基づいた防除指導が行われているとのことと、褐斑病については、防除の徹底と、8月中旬以降、気温が低めに経過したこともあり、初期病斑が確認された程度でした。9月の最終防除を適切に実施すれば褐斑病の被害は

最小限にとどまると見込まれました。西部萎黄病は冬期間からの地域ぐるみの取組、圃場での防除の徹底により、スポット的に黄化している圃場はあるものの、昨年より明らかに発生量が少ないことが確認されました。

参加者一同、本年の地域ぐるみの病害虫防除の成果を実感いたしました。

各所とも健全な茎葉で、圃場間・圃場内格差の少ない均一な生育状況でありました。これらの状況から収量並びに糖分ともに平年を上回る豊作が期待できる状況でありました。



調査風景 (9月1日 芽室町)



【(独) 農畜産業振興機構からのお知らせ】

機構では、毎月発行するメールマガジンにより、畜産、野菜、砂糖・でん粉に関する各種様々な情報のほか、それぞれの需給動向に関する最新のデータやセミナーの開催情報などを、無料で、ご案内いたします。配信をご希望される方は、機構ホームページ <http://www.alic.go.jp/> の「メールマガジン」からご登録をお願いいたします。

平成27年産てん菜の生産見込数量

(平成27年8月20日現在 北海道農政部長農産振興課発表)

総合振興局・ 振興局	平成27年産(見込)			参考:平成26年産(実績)			参考: 対前年比	参考: 平均収量
	作付面積	ha当たり 収量	生産量	作付面積	ha当たり 収量	生産量	作付面積	平均収量
	ha	t/ha	t	ha	t/ha	t	%	t/ha
空知	517.14	62.0	32,000	501.74	63.0	31,616	103	57.37
石狩	1,043.43	61.0	63,600	953.86	63.3	60,330	109	57.82
後志	1,323.37	59.0	78,100	1,256.89	61.5	77,314	105	55.09
胆振	1,599.89	60.5	96,800	1,538.95	63.3	97,362	104	57.27
日高	51.91	54.0	2,800	44.95	60.6	2,723	115	53.03
渡島	150.12	57.0	8,600	142.35	55.4	7,881	105	50.77
檜山	260.06	60.0	15,600	206.63	63.1	13,033	126	53.03
上川	3,619.15	62.0	225,200	3,547.05	61.9	219,590	102	56.03
留萌	265.57	48.0	12,800	327.92	40.2	13,193	81	49.42
宗谷	—	—	—	—	—	—	—	—
オホーツク	23,692.25	63.6	1,507,700	23,327.59	61.8	1,441,167	102	59.28
十勝	25,732.55	63.2	1,627,500	24,960.79	63.3	1,579,316	103	61.91
釧路	296.98	56.6	16,800	300.55	56.4	16,939	99	54.94
根室	129.80	50.1	6,500	124.57	50.2	6,250	104	47.62
計	58,682.22	63.0	3,694,000	57,233.84	62.3	3,566,715	103	60.03

注:平均収量は、直近7か年のha当たり収量のうち最高、最低を除く5か年分の平均。

平成27年産てん菜の生産見込

本年のてん菜の生育状況については「てん菜生育状況等現地圃場調査」の項で記述したとおり、春作業や初期生育は、近年にない順調なスタートとなりました。7月には雨不足で

やや生育の停滞する地帯もありましたが、その後回復し、道農政発表の9月15日現在の生育状況では、平年に比べ5日早い生育となっています。このような中、9月28日、平成27年産てん菜の生産見込数量(8月20日現在)が、道農政部長農産振興局農産振興課から上表のとおり発表されました。

これによりますと作付面積は58、682haと11年ぶりに前年を上回り、ha当たり収量見込みは平年並びに前年を上回る63tとなつています。この結果、全道の生産見込数量は、369万4、000tとなつております。

このところ秋らしい天候となり、10月の気象もほぼ平年並みと予報されておられ、また昨年発生が拡大した西部萎黄病も今年は大幅に抑制され、褐斑病の発生も少ないなど、近年になく茎葉が健全な状況であることから、糖分の上昇も期待されています。

協会の動き

— 行事予定等 —

○ 企画調整専門部会現地圃場調査 (9月1日～2日)

十勝・オホーツク管内
○ そう根病抵抗性検定試験・同予備試験及び西部萎黄病現地調査 (9月8日～9日)

十勝・オホーツク管内
○ 糖分測定装置の操業前点検 (9月24日～25日、28日)

○ 「15農業・農村フェスタ in 赤れんが」協賛参加 (10月3日 道庁赤れんが前)

○ 上半期監事監査 (10月9日)

○ 協会役員てん菜受渡し等に係る現地調査 (10月26日～27日)

日甜土別製糖所・北糖道南製糖所

○ 第3回理事会 (10月27日)

○ 立入点検の実施

(10月下旬) 糖分測定センター

稼働期間中に2回実施
○ 「北海道うまいもの見つけた！」イベントへの参加

(10月31日～11月1日)

アリオ札幌店

第13回 てん菜研究会開催

7月17日、札幌の北農ビルにおいて第13回てん菜研究会（技術研究発表会・定例総会）が開催されました。

技術研究発表会では、分野別に(1)育種・品種関係が4題、(2)栽培関係が4題、(3)病害虫関係が4題、の計12課題の発表がありました。

定例総会では、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画、予算などが承認されました。

研究会には、大学、研究機関、糖業、資材等のメーカー、生産者団体などから110名を超える参加者があり盛況でした。

■技術研究発表課題及び発表者

1. 海外で育成された維持系統における新規 r f 1 アレルの探索
内山大輔（北海道大学大学院）
2. テンサイ r f 1 遺伝子座の構造比較から見た r f 1 多様化機構
上 幸代（北海道大学大学院）
3. 春化处理後の高温によるテンサイの脱春化の評価
黒田洋輔（農研機構北海道農業研究センター）
4. てん菜春化处理苗における脱春化について
5. 平尾浩介（ホクレン農業協同組合連合会）
6. 北海道で分離されたビート西部萎黄ウイルス（B W Y V）の系統解析
上田重文（農研機構北海道農業研究センター）
7. テンサイの収穫時に発生する堀残し株とその越冬性
高橋宙之（農研機構北海道農業研究センター）
8. テンサイ褐斑病の被害解析の試み
池谷 聡（道総研北見農業試験場）
9. 異なるテンサイ部位に由来する分離細菌叢の比較
岡崎和之（農研機構北海道農業研究センター）
10. テンサイ移植栽培におけるリン酸施肥削減試験事例について
石井岳浩（北海道糖業株式会社）
11. 短紙筒育苗における品種及び育苗期間の比較
金子悠子（日本甜菜製糖株式会社）

12. てん菜収穫・輸送作業体系再編集約事業（農作業受委託仲介システム確立も目指し）について
木山邦樹（日本甜菜製糖株式会社）

尚、発表要旨資料については、N P O 法人グリーンテクノバク（011-210-4477）にお問い合わせください。



発表状況



道総研十勝農業試験場

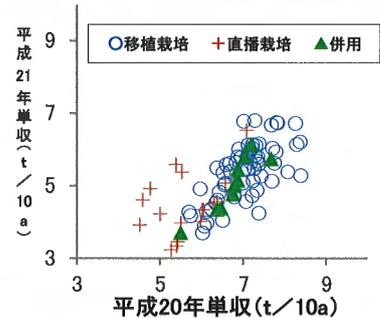
ほ場管理の改善で、直播てんさいの収益性UP！

背景と目的

- ・直播栽培により、省力・低コスト栽培が可能！
- ・直播栽培による作付面積は拡大傾向！
(平成26年：10,114ha 全道てんさい作付けの17.7%)

→直播栽培の安定化には、
どのようなほ場管理が必要？
→適正なほ場管理による経済性は？

直播栽培の単収は、
①低い（移植比15%減）
②不安定（年次間差が大）
→安定生産が課題！



単収とほ場管理作業の特徴（十勝A町）

※十勝A町を対象にした、ほ場管理作業の調査

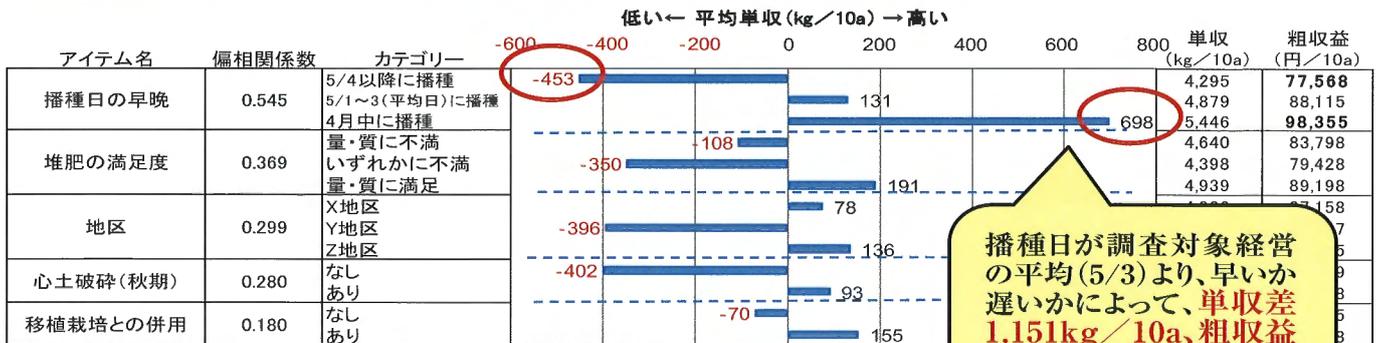
・高位経営では、播種日が早く、適切なほ場管理、堆肥利用が行われています。

単収水準 (t/10a)	戸数 (戸)	播種日 (平成22~24年中央値)	心土破砕 あり (%)	耕起			融雪剤 散布 あり (%)	堆肥 散布 あり (%)	堆肥の投入量 (t/10a)	堆肥について		高位安定経営と低位不安定経営の特徴(現地試験結果)			
				秋期 (%)	春期 (%)	注2) 簡易耕 (%)				十分に確保 (%)	品質に満足(問題なし) (%)	心土破砕の実施時期	土壌硬度が1.5MPaを超える深さ(注3)	土壌含水比(深さ5~15cm)	出芽率
全平均	4.7	24	5/3	79	8	13	38	100	4.0	83	58	・高位: 播種前年に実施 ・低位: 播種当年の春期に実施する場合あり	・高位: 47.7cm ・低位: 30.0cm	・高位: 54.0% ・低位: 57.7%	・高位: 安定的に90%以上を確保
低位	3.9	9	5/4	100	0	0	11	100	3.7	67	33				
中位	4.7	5	5/4	60	20	20	40	100	4.0	80	60				
高位	5.5	10	4/30	70	10	20	60	100	4.3	100	80				

注1) 表記した割合(%)値は、各単収水準における集計戸数に占める回答割合を示す。注2) プラウを用いた反転耕を実施していない。注3) 1.5MPa: 貫入式土壌硬度計による耕盤層の判定基準

単収に影響するほ場管理作業と経済効果（十勝A町）

※十勝A町（32戸）における「数量化I類」を援用した分析事例



播種日が調査対象経営の平均(5/3)より、早いか遅いかによって、単収差1,151kg/10a、粗収益差20,787円につながる事がわかります。

全道各地の産地での適用が可能です！

- ・同様の分析は、全道各地の産地で実施可能です
- ・「改善指導法」として整理⇒詳細は農業改良普及センターへ

お問合せは 道総研十勝農業試験場 〒082-0081 北海道河西郡芽室町新生南9線2番地
研究部生産システムグループ Tel 0155-62-9828 tokachi-agri@hro.or.jp

てん菜 西部萎黄病 対策

昨年発生が拡大した「てん菜西部萎黄病」、今年は大幅に抑制されました。
 来年に向けて、**収穫後から冬期間だからこそ効率的に出来る対策があります。**
 引き続き地域ぐるみで取り組みましょう!!

病原ウィルスを媒介する

アブラムシの越冬(生息)場所を除去

●冬期間のハウス内でのアブラムシ生息場所●



ハウス内の雑草



収穫後の作物残渣①



収穫後の作物残渣②



てん菜育苗培土に発生した雑草



アブラムシは植物体がなければ生息できません!!

- てん菜の茎葉部や掘り残しは土壌にしっかり埋め込む
- 越冬ハウス内などの収穫物残渣や雑草を徹底的に処分
 (育苗土の堆積場所、農機具保管場所を含む)



北 糖		ホクレン		日 甜		糖業者名 製糖所(工場)	
本 道	北 見	清 水	中 斜 里	士 別	美 幌		芽 室
10月15日	10月17日	10月18日	10月17日	10月13日	10月17日	10月15日	10月17日

平成27年度
 てん菜糖業者操業開始日程